

3 自己評価及び子ども園関係者評価結果

(1) 自己評価

＜本年度の重点目標＞

- ① 保育の計画性と職員間の共通理解をはかる。
- ② 教師との信頼感に支えられた生活の展開と幼児一人一人の特性に応じた指導をはかる。
- ③ 乳幼児の安全な生活、施設設備の安全管理に努める。
- ④ 教育の質の向上のために、園内研修や研修の充実をはかる。
- ⑤ 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。
- ⑥ 地域との交流や、子育て支援事業の充実をはかる。

自己評価書 (教職員)

評価(A 十分達成された B 達成された C 十分ではない D 不十分である)

	評価点
I 「教育及び保育の目標、計画性」	
昨年度の反省から、今年度は園内研修で保育の内容と狙いとの関連性をもう一度確認し合った。 公開保育も行い、保育内容の充実を図った。 来年度も公開保育は続けていきたい。	A
II 「子どもの発達援助」	
アレルギーたいおうについて、除去食や代外の対応は先生たちがみんなで気をつけていくことが大切、ということが改めて確認できた。 感染症の子が一人出たら、保護者にはすぐに知らせ、園全体で対応していくことが、感染拡大を防ぐことになると思う。 ただ、過剰に敏感になりすぎないように、発信には気をつけていきたい。 保育の内容や、子どもへの対応は常に子どもに寄り添い、保育を行っていると思う。ただ、その先生の性格や、やり方はそれぞれなので、対応の仕方が気になる人もいて、みんなで声を掛け合える雰囲気にしていきたい。	B
III 「保護者支援」	
若い先生たちも、保護者の対応に自信がもてようだが、気を使い、よくやってくれていると感じる。保護者の話をよく聞いて、対応する際の言葉遣いに気をつけ、相手の気持ちを受け止め、保護者からの要望・質問は些細なことでも、必ずクラス担任や他の保育教諭に報告したりした。子どもに関することも含め、自分でわからないことは、自分で判断せず、園長や主幹保育教諭の指示を仰いで確認してから答えるようにし、対応するように心掛けた。 地域の子育て支援として、なかよしルームの開放やイベントを行ってはいるが、対象の子どもが少なくなってきた。 外国籍の子が多くなり、なかなか伝わらないことが多く、対応が難しいのが今後の課題。	A
IV 「保育を支える組織基盤」	
なかなか時間がない中、園発信の研修には参加できているが、自主的な研修になかなか参加できにくい。 正規だけでなく職員全員が、研修に参加できるといいと感じる。 病気や怪我などは、看護師の助言をもらったり、対処してもらい全員できちんとした対応を取っている。	A
V 「保育教諭として求められる資質、心構え」	
子どもが好きで、子どもたちの視線を合わせ寄り添い一人一人を大切にしよう気をつけている。 園の運営は、一人でやるべきではないのでとにかくみんなで連携を取るよう心掛けていく。 個別の配慮が必要な子に対しては、皆できちんと理解して対処していく必要があるため、正規職員だけでなく、全職員にしっかり連絡し、困ることがないようにする。	A

(2) 学校関係者評価

学校関係者評価書

I 「教育及び保育の目標、計画性」	評価点
他園や、他のクラスの様子をみるにより、新たに気づくことがあったり、自園の良さを再認識し、自信につながったりするので、公開保育は続けてほしい。	A
II 「子どもの発達援助」	
子どもたちが自分でやりたいことをやれる環境ができています。個々の特性に対応した手厚い配慮をしていただいて、保護者は安心して預けられると思います。掲示物の内容、デジタル利用した子どもたち様子等を見て先生方のご苦労がうかがえます。子どもの努力の様子を細かく見て、その成果をたたえてくれるコメント、いつも素晴らしいと思っています。	A
III 「保護者支援」	
わが子中心の保護者も多くなっている中での対応が、とても大変で苦勞されていると思います。一人で抱え込まず共有していくことが本当に大切ですね。言葉一つ、とらえ方も人それぞれですので、大変だともいいますが頑張ってください。	A
IV 「保育を支える組織基盤」	
時間がなくても、研修に参加されている。研修で再認識できることもあると思うので参加していただきたい。（時間がなかなか取れないとは思いますが。）感染症については、情報を早めに流した方がいい	A
V 「保育教諭として求められる資質、心構え」	
先生方の保護者に対する対応はとても丁寧だと思うので、厳しい意見があったとしても、今までどおりの対応でいいと思います。目を見て話すことは基本ですが、なかなか難しいと思います。基本ができて先生たちは素晴らしい。	A

<今後に向けて>

令和7年度においては、従来の評価項目及び評価項目を見直し、より細かく各職員から104項目の回答を得て、自己評価のための園状況を分析した。 こども園関係者評価委員の皆様には、行事の様子を見ていただいたり、保護者のアンケートや、自己評価から、先生たちが子どもたちのために頑張ってくれていて、一生懸命やっていると、とても温かなご意見をいただきありがたかった。 評価内容としては質問内容を見ても対象外の職員もあるが無回答となってしまうので「対象外」とした方が適切ではないかとの意見もあったので、今後は表示方法も検討していきたい。 保護者のニーズとしては、1号認定児が減少し、2、3号認定児の増加が続いているので、今後も園児の数は減少するが保育時間が長くなる傾向にはあるのかと思う。 そのことから、以前から課題である職員同士の連携、正規職員の確保等とても重要であり、職場が元気で職員同士風通しの良い園にしていきたいと感じた。
